

# 平成 26 年度 第 1 回 学校協議会報告

【日時・場所】 平成 26 年 6 月 16 日（月）14 時～15 時 30 分 応接室

【出席者】 学校協議会委員（50 音順）

岩井 英雅（元府立学校准校長）大原 武史（寝屋川市立第一中学校長）

神戸 尚史（校医、産業医） 中澤 良太（北水会同窓会 副会長）

宮川 順那子（PTA 定時制委員会 副委員長）

宮本 文代（PTA 定時制委員会委員長）

准校長：中村 泰孝

事務局：溝端 茂樹（教頭）岩田 正巳（事務部長）

北村 陽子（首席・養護教諭）安田 晃（教務主任）

沼田 慎也（生徒指導主事）湯村 悦和（進路指導主事）

舟本 孝雄（保健主事）宮地 耕介（4 年学年主任）森 照代（3 年学年主任）

林 雄大（2 年学年主任）中嶋 幹也（1 年学年主任）

## 1 開会

## 2 准校長挨拶

## 3 事務局より

（1）実施要項について

（2）会長選出

岩井 英雅 委員

## 4 会長挨拶

職務代理者として 大原 武史委員を指名

## 5 協議

（1）本年度学校経営計画についての説明（准校長）

○めざす学校像

- ・単位制のシステムを有効活用し希望に応じた自己実現を図れる学校
- ・一人一人が大切にされる安全で安心な学校
- ・地域・家庭と連携し協力する学校

○中期的目標

- ・勉強がわかる喜びを伝える
- ・人に認められ人と理解しあえる喜びを伝える
- ・夢や志を抱く喜びを伝える
- ・安全で安心な学校環境づくりを推進する
- ・校内組織の機動力の強化を図る

○本年度の取り組み及び自己評価

(2) 提言

- ・授業妨害に対しては、粘り強い毅然とした指導が重要。
- ・「学校教育自己診断」の「学校の授業は教科書以外の教材を使うなどの工夫をしている」の質問があるが、授業の工夫は教材だけではない。授業そのものの工夫や教科書をていねいに使っていることも該当するので、表現を変えた方がいいのではないか。
- ・前回の学校協議会でも出たが、「学校教育自己診断」の「学校の授業中は、落ち着いて学習できる環境である」における「環境」のところはハード面よりは、生徒に伝わるように雰囲気などのソフト面の表現に変えた方がよい。
- ・体育祭等の学校行事において、積極的な教員とそれに導かれる生徒たちの関係がとてもよく学校行事を楽しんでいると感じている。
- ・進路指導に関して、今年度は企業訪問や開拓に学校全体で取り組むことをはじめとして校内での体制作りさらに力を入れてもらいたい。また、大学等進学を志す生徒の受験指導(放課後の個別指導など)にも配慮していただきたい。学校全体としての生徒相談機能をさらに充実させ、就職、進学ともに夢を持つ生徒への丁寧なサポートをお願いしたい。
- ・「貧困問題」、「格差問題」、「保護者の生活力」、「経済的な背景」、「学力」等で様々な課題がある生徒たちの進路先として、定時制高校がその役割を担ってほしい。

生徒たちには「学ぶ」「生きる」「社会の中でどうかかわっていくか」ということを今後もしっかり教えていただきたい。

6 その他

教科書選定について